（別添資料１）

事業所名	クオリティ・オブ・ライフノルトくさなぎ支援教室	**支援プログラム（参考様式）**	作成日	R8	年	2	月	1	日

法人（事業所）理念	利用者様の「生活の質の向上」を目指すと共に利用者様に関わる周りの方の幸せ、向上をモットーに1人ひとりに寄り添った支援が提供できるように日々努めています。 障害の有無に関わらず、全ての方が活躍できる「ノーマライゼーション社会の実現」という信念をもって、障害福祉サービスを提供して行きます											
支援方針	利用者様に関わらず、利用者様に関わる方、職員一同の「生活の質が向上」するように支援を行っています。 そのために利用者様、保護者様に寄り添った関わりを行い、自由な環境の中で、自主性や感受性、個性を大切にする支援を提供できるように日々努めています。											
営業時間	平日	10	時	00	分から	19	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり（○）	なし
	学校休	9	時	00	分から	18	時	00	分まで			

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	健康状態の把握： 日々の体調や情緒の変化を把握し、安心して過ごせるよう適切に支援します。 基本的生活スキルの獲得： 手洗い・身支度・持ち物管理など、生活に必要な基礎スキルの習得を一人ひとりに合わせて支援します。 構造化等により生活環境を整える： 見通しが持てるようスケジュールや環境を整え、落ち着いて生活できる環境づくりを行います。
	運動・感覚	姿勢と運動： 姿勢保持や身体の使い方を整え、安定した運動につながる基礎的な身体づくりを支援します。 動作の基本的技能の向上： 歩く・跳ぶ・つかむなどの基本動作を段階的に練習し、スムーズな身体動作の獲得を目指します。 保有する感覚の総合的活用： 触覚・視覚・固有感覚などをバランスよく活用できるよう活動を工夫し、感覚統合の向上をサポートします。
	認知・行動	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成： 物事の特徴や関係性を理解できるよう、認知の土台となる概念の形成を支援します。 数量、大小、色等の習得： 数量・大小・形・色などの基礎概念を、実体験を通してわかりやすく習得できるよう支援します。 認知の偏りへの対応・行動障害への予防及び対応： 認知の偏りや特性による行動のつまずきを把握し、適切な対応と環境調整により行動上の困難を予防・軽減します。
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用： 言葉の理解と表現の基礎を育み、日常生活で適切に言語を活用できるよう支援します。 受容言語と表出言語の支援： 相手の言葉を理解する力と、自分の気持ちや要求を表出する力を促し、コミュニケーションの幅を広げます。 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得： 関わりの中で順番・視線・やり取りを経験し、人とのつながりを楽しみながらコミュニケーション能力を育てます。 指差し、身振り、サイン等の活用・コミュニケーション機器の活用： ジェスチャーや指差し、サイン、補助具・機器など多様な手段を用いて、伝えたい気持ちが適切に伝わるよう支援します。
	人間関係 社会性	アタッチメント（愛着行動）の形成： 安心できる関係づくりを通して、信頼感や情緒の安定につながる愛着の形成を支援します。 模倣行動の支援： 大人や友だちの動きや言葉を模倣することで学びが広がるよう、わかりやすい手本や関わりを提供します。 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援： 感覚的な遊びからごっこ遊びへと発展できるよう、遊びの幅が広がる環境と働きかけを行います。 一人遊びから協同遊びへの支援： 一人で楽しむ遊びから、他者と関わりながら遊ぶ協同遊びへとつながるよう、段階的な経験をサポートします。 自己の理解とコントロールのための支援： 自分の気持ちや特性を理解し、行動や感情を調整する力を育むための声かけや環境調整を行います。 集団への参加への支援： 集団行動の流れがわかるようにし、安心して活動に参加できるよう、見通し提示やルール理解の支援を行います。

家族支援	子どもの成長・発達の基盤となる家庭での暮らしを安定・充実させる支援 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助の実施 ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助	移行支援	地域で暮らす他の子どもと繋がりながら日常生活を送ることができるようにすること ・入学等のライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 ・事業所以外の生活や育ちの場である保育所等の併行利用先や学校等での生活や支援の充実
地域支援・地域連携	・子どもが通う保育所等や学校等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組み ・子どもが利用する相談支援事業所や他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携の取り組み	職員の質の向上	・グループ全体で委員会を設置し、事業所内研修の実施し質の向上に努めています。 ・日々の支援の振り返りを行っています。 ・役職に合わせて会議を開催し、情報共有、事例検討、ディスカッション等行います。
主な行事等	通常の活動において季節に合わせた活動を行っています。（節分、ひな祭り、敬老の日、ハロウィン、クリスマス等）		